

## 新聞発表

# ハンチントン病をターゲットとしている新しい小分子化合物臨床試験の準備ができました

2019年以來、Bicol GmbHは、ハンチントン病をターゲットする経口投与可能な小分子化合物の開発と最適化において、Galyan Bio Inc.に支援を取り組んで、今臨床試験は2022年に予定されています。

プラネック/マルティンスリート(ドイツ) - Bicol、医薬品開発を加速し、新しい化合物と関係先導化合物合成のエキスパートとして、本日、Galyan Bioとの協力プロジェクトにおいて、ハンチントン病の候補治療薬の開発における支援的な役割を発表いたします。

ハンチントン病は、不随意運動、認知力低下、情動障害等の症状が現れる常染色体遺伝形式の進行性遺伝病です。初期には不随意運動が出現し、協調運動障害も認めるようになります。また、易怒性や抑うつなどの精神症状が見られるようになります。原因遺伝子として、ハンチンチン (huntingtin) タンパク質をコードするHTT遺伝子の変異によって起こる。ハンチンチンは、神経細胞の生存、シナプスタンパク質の輸送、髄液の流れを制御する繊毛感覚器官の機能など、いろんな重要な役割を果たしている。ハンチントン病の影響は、ヨーロッパ人10万人あたり3~7人が罹患すると推定されています。

カリフォルニア州(米国)のスタートアップ企業であるGalyan Bio Inc.は、神経変性疾患に対するファーストインクラスの経口投与可能な小分子化合物を開発しています。2019年以來、Galyan BioはBicol GmbHと密接に協力して、ハンチントン病の症状患者の病気を緩和し、無症候性の遺伝子保因者の症状発症を遅らせるようにことを目的とした医薬品候補化合物を広めました。臨床試験の開始は2022年を予定されています。

Bicol社の社長カイ・ラモトゥケ博士は、「今回共同研究の結果は、小分子化合物が幅広い疾患領域に有効であることを改めて示していました。我が社の合成・分析チームは、数十年にわたる豊富な経験を持ち、Galyan Bio社のプロジェクト方案に早いペースで実現して、最終的に薬剤候補化合物を取得しました。当社は、初期の活性化合物からマルチグラムスケールまで、前臨床試験と開発の各段階を含めて、Galyan Bioをサポートできたことを誇りに思います。当社のチームは、ハンチントン病を治療する巨大な開発力を持つ薬物候補であり、この一連の新規化合物に貢献できたことを嬉しく思います。予定された臨床試験の結果も楽しみにしています。」と述べてしました。

マリウス・ガリアン博士は、「Bicol社から連続的な技術サポートのおかげで小分子合成サービスとADMETアッセイを統合し、化合物スクリーニングのスピードは大幅に引き上げを得ました。それ以外に、スクリーニング化合物の溶解性や安定性の問題を解決するためBicol社から与えた支持が今回の成功につながりました。」と述べてしました。

### Bicoll について

Bicoll Group は、ミュンヘン近郊のプラネック/マルティンスリートに本社を置く **Bicoll GmbH** と、その完全子会社である **Bicoll Biotechnology (Shanghai) Co., Ltd** を含む私有バイオ医薬品企業です。

Bicoll は高い効率、多専門的アプローチを使って新しい薬の発見を目標として、臨床前支持を提供します。

Bicoll は、製薬、農薬、および関連業界の国際的な顧客に対して、高品質の先導化合物の発見に力を尽くします。Bicoll は、ハイテク天然物化学と医薬品化学の専門知識を併せ持つので、パートナーの候補ポートフォリオの新薬開発パイプラインを質的・量的に強化することができました。

<https://bicoll-group.com/>

メディア コンタクト

Maria Lamottke

+49 89820 10630

press@bicoll-group.com

### Galyan Bio について

Galyan Bio Inc.は、米国カリフォルニア州バーレーに拠点を置くスタートアップ企業です。

Galyan 社は、神経変性疾患、癌、老化に対するファーストインクラスの小分子薬を開発しています。2019 年で、マリウス・ガリアン博士により創立された。

<https://galyan-bio.com/>

Dr. Marius Galyan

marius@galyanbioinc.com